

令和05年度 第1回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年06月14日 午後02時00分～午後05時00分

開催場所	南千住警察署 講堂	出席者	協議会委員 6名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、会長を互選した。

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
 自転車利用者のヘルメット着用促進に向けた「広報活動の実施」及び「グッズの製作、配布」等について
 - (1) 広報活動の実施
 - ア 当署備え付けのデジタルサイネージやサインカーを活用した広報
 - イ 大型商業施設や主要交差点等での、ヘルメット着用を訴えるキャンペーン
 - (2) グッズの製作、配布
 各キャンペーンの際に
 - ア ヘルメット着用のチラシ入りポケットティッシュ
 - イ 自転車から離れる際に、ヘルメットを置いておくための
 - ・ 自転車用ヘルメットホルダー
 - ・ ダイアルロックボックス
 等を配布した。
- 2 業務推進状況
 - (1) 交通安全対策
 - ア 本年の活動方針
 - (ア) 子供、高齢者が安心して過ごせる交通安全の街づくり
 - (イ) 自転車の交通事故防止対策と指導取締り
 - (ウ) 交通死亡事故「0」の継続
 - イ 交通安全対策の展開
 - (ア) 子供と高齢者に対する交通安全教室の推進
 - (イ) ターゲットを絞った交通安全対策の推進
 - (ウ) あらゆる機会を通じた交通事故防止対策の推進
 - (エ) レッドフラッシュ対策等による交通指導取締りの推進
 - (2) 警備警察の活動状況
 - ア 機動隊観閲式の視察
 - イ 「第37回川の手荒川まつり」に伴う雑踏警備
 - (3) 地域警察官の活動状況
 - ア 110番入電状況
 - イ 自転車ヘルメット着用開始に伴う出陣式
 - (4) 刑事組織犯罪対策課の活動状況
 - ア 刑法犯の認知・検挙状況
 - イ 特異検挙事例
 職務質問による大麻所持・大麻栽培事件の検挙
 - (5) 生活安全課の活動状況
 - ア 令和5年の南千住署管内犯罪発生状況
 - イ 特殊詐欺対策
 - (ア) 自動通話録音機の設置推進
 - (イ) STOP! ATMでの携帯電話
 - (ウ) 「サポート詐欺」被害防止対策
 - (エ) NTT東日本による特殊詐欺被害防止の取組
 - ウ 自転車盗難対策
 - (ア) 自転車盗発生状況
 - (イ) 自転車盗難防止キャンペーン
 - (6) 警務課の活動状況
 - ア 採用試験受験勧奨
 - イ 被害者支援活動

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
「自転車盗難防止対策」について
 - (1) 管内で発生する自転車盗難被害の約半数が無施錠
 - (2) 自転車の施錠を訴えるキャンペーン等を実施中
 - (3) 自転車の施錠率を高めるための御意見を頂きたい。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 自転車施錠のキャンペーンを目にしたことがないので、特殊詐欺のキャンペーンと同様の頻度まで増やして、もっとアピールしてほしい。
 - (2) 管内の小・中学校に依頼して、施錠を促すための、インパクトの強いポスターを作成してもらうのはどうか。
 - (3) 防災無線を活用して、広く注意を促してほしい。
 - (4) 被害者層、被害時間、被害場所等を分析し、ターゲットを絞り、集中的にアピールするのも効果的ではないか。
 - (5) 視覚に訴えるのが一番なので、ポスター、のぼり旗等をたくさん取り付けてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第4回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年03月15日 午後03時30分～午後05時15分

開催場所 南千住警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
災害対策において、住民に、いざという時の備えについて広く周知していただくための有効な手段に対して、以下のとおり説明した。
 - (1) 「広報の機会を設ける」については、多くの家族連れ等が参加するスポーツフェスティバル会場において防災キャンペーンを実施し、幼児向けの災害対策服及びレスキュー服の着用体験等で関心を持っていただくとともに、当庁災害対策課作成のパンフレットを配布した。
 - (2) 「ピンポイントで広報啓発活動をする」については、ボランティア団体や荒川区社会福祉協議会主催の多くの高齢者が参加する「あおい会」において、当庁災害対策課員を講師に招き災害講話を実施した。
- 2 業務推進状況
 - (1) 交通安全対策
 - ア ターゲットを絞った交通安全対策の推進
 - (ア) サンデーオートバイ教室の再開
 - (イ) 企業向けセミナーの継続実施
 - イ 高齢者に対する交通安全教室等の推進
 - ウ B A G S (交通少年団) との広報啓発活動の推進
 - エ 「広めよう交通安全の輪 ひまわりの絆プロジェクト」の継続実施
 - オ 取締り活動ガイドラインに関して、重点地区、路線の見直しについて説明し意見を求めた。
 - (2) 地域警察官の活動状況
 - 110番通報入電状況
 - (3) 刑事組織犯罪対策課の活動状況
 - ア 刑法犯認知件数及び検挙状況
 - イ 特異検挙事例として、管内で連続発生した「高価な化粧品を転売目的での万引き事件」犯人の検挙
 - (4) 生活安全課の活動状況
 - ア 令和4年中の自動通話録音機設置状況
 - イ アポ電強盗対策
チラシを作成し、新聞折り込み及び防犯講話等で配布した。
 - ウ 令和4年中の自転車盗難対策
管内所在の高校ボランティアチームと合同で自転車盗難防止キャンペーンを実施した。
 - (5) 警務課の活動状況
 - 3年ぶりに武道始式を開催した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
令和4年中に当署管内で発生した交通人身事故のうち自転車関与率は57パーセントで、都内区市町村別で荒川区はワースト3位となっている。このような状況下、本年4月1日から自転車に乗る方のヘルメット着用が努力義務となる。今後、自転車利用者にヘルメットを着用してもらうための有効な方策について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 自転車利用者に対する広報活動(ヘルメットの重要性、販売しているところ、値段等含む)
 - ア 青パトによる広報
 - イ 荒川区の防災無線による広報
 - ウ ポスター、チラシの配布、貼付(スーパーなど人が集まるところ、新聞折り込み等)
 - (2) 荒川区への働き掛け

- ア 高齢者への無償配布
 - イ ヘルメット購入者への補助金制度の確立
- (3) グッズの製作、配布
ヘルメットを自転車とつなぐなど盗難防止グッズを配布する、若しくは教示する。

[その他の意見要望等]

委員から

- 1 「そもそも自転車のルールを理解している人が少ない。取り締まる前に自転車のルールを知らしめ、マナーの向上をさせることが必要だ。」
- 2 「警察官はいつも同じ場所で行っている。取締りをするだけでなく、いろいろな場所に立って、自転車利用者にマナーの声掛けをするなどした方がよい。」旨の意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第3回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年12月14日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所 南千住警察署 講堂

出席者 協議会委員 7名
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
採用試験受験勸奨活動について「人目に触れる機会を設ける」「中長期的な視点でPRすればいい」等の要望により、
 - (1) 「人目に触れる機会を設ける」については、大型商業施設で開催された「家族で楽しく体験・南千住フェスタ」においてブースを設け、適齢期のみならずその家族に対する幅広い声掛けや町会全掲示板(129箇所)に採用試験ポスターの掲示等を実施した。
 - (2) 「中長期的な視点でPRすればいい」については、区立中学校で開催された「校内ハローワーク」に職員を派遣し、中学1年生から3年生までの生徒に対して警察官の仕事のやりがい等についての講話を実施した。
- 2 業務推進状況
 - (1) 各種交通安全対策の実施
 - ア 秋の全国交通安全運動期間中、通勤通学時間帯における交通安全対策及び管内全ての飲食店に対する「飲酒運転をさせない」キャンペーン参加呼び掛けを実施
 - イ 管内全保育園に対して「横断歩道の渡り方教室」を実施
 - ウ 高齢者施設利用者、大型ショッピングモール等において高齢者に対する交通事故防止対策を実施
 - エ 署員に対して、署中庭において運転実技指導、交通事故防止講話の実技研修を実施
 - オ 「ひまわり絆プロジェクト」などの被害者支援活動を実施
 - (2) Jアラート発令に伴う初動措置対応訓練の実施
総務省消防庁主催の「全国瞬時警報システム(Jアラート)を用いた全国一斉情報伝達試験」の実施に伴い、当署独自で初動措置対応訓練を実施
 - (3) 地域警察官の活動状況
 - ア 110番通報入電状況
 - イ 若手警察官の指導育成状況紹介
 - (4) 刑事組織犯罪対策課の活動状況
 - ア 刑法犯認知件数及び検挙状況
 - イ 特異検挙事例として、建設工事現場の事務所を狙った窃盗事件被疑者の検挙
 - (5) 生活安全課の活動状況
 - ア 令和4年度全国地域安全運動の実施
 - イ 高齢者サロンにおいて、「STOP! ATMでの携帯電話」の携帯電話用クリーナーを活用した防犯講話の実施
 - ウ 「地域ぐるみ大運動会」において「STOP! ATMでの携帯電話」うちの配布
 - エ 防犯ボランティア団体「特殊詐欺アドバイザー及びクリーンレディース」による特殊詐欺等被害防止活動の実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
災害対策において、住民に、いざという時の備え(避難場所、避難時期、避難方法及び災害備蓄等)について、広く知ってもらうための有効な手段はあるか。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 特殊詐欺被害防止広報のように、青パトや防災無線で防災に係る広報の機会を設ける。
 - (2) 町内会にお願いして町内掲示板にポスターを掲示する。
 - (3) DigiPoliceに防災サイトを設ける。
 - (4) ピンポイントで、例えば高層マンション、高齢者入居施設、学校等の集会に出向き、広報啓発をする。
 - (5) 防災の日や歳末警戒日等、町会が集まる機会を捉えて、資料を配付する。

[その他の意見要望等]

委員から「自転車の交通取締りが強化されるとのことであるが、現状は子供から高齢者まで自転車の正しい通行方法が周知されていないため、取り締まる前に通行方法を十分に周知させるべきである。また、自転車が車道を走ることによって危険性が非常に高まる場合もあり、懸念している。」旨の意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第2回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年10月03日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所 南千住警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
「学童警戒時における見せる街頭配置」の要望により、
 - (1) 「目立つために蛍光カラーのビブス(チョッキ)の着用」については、街頭配置員に夜光チョッキを着装することとした。
 - (2) 「抑止効果として可搬式の赤色灯の設置」については、可搬式の赤色灯を設置し点灯することとした。
- 2 業務推進状況
 - (1) 各種交通安全対策の実施
 - ア 地域交通安全活動推進委員との自転車キャンペーンとして、当署管内事故多発地域である国道4号線南千住交差点において広報活動を実施
 - イ 交通少年団による交通安全活動として七夕飾りを作り交通安全祈願を実施
 - ウ 高齢者に対する自転車安全教室を高齢者が集う「ふれあい館」や「防災センター」及び、地域交通安全活動推進委員と共に当署中庭にて実施
 - エ 「交通安全の朝顔」「ひまわり絆プロジェクト」など被害者支援活動を実施
 - (2) 震災警備総合訓練の実施
木造住宅密集地域等、発生が危惧される大規模災害に備え、警察署機能を維持しながら救出救助活動を執行できるよう実践的な南千住震災警備総合訓練を実施
 - (3) 地域警察官の活動状況
 - ア 110番通報入電状況
 - イ ふれあいポリスの紹介
 - (4) 刑事組織犯罪対策課の活動状況
 - ア 刑法犯認知件数及び検挙状況
 - イ 特異検挙事例として、路上を通行中の高齢女性を狙った強盗致傷事件被疑者の検挙
 - (5) 生活安全課の活動状況
 - ア 特殊詐欺被害未然防止
 - イ 郵便局員に対する特殊詐欺対策の広報啓発活動状況
 - ウ スクールサポーターの活動紹介
 - エ 警視庁防犯アプリ「Digi Police」(デジポリス)の普及活動
 - (6) 署員教養「車両運転訓練」による交通事故防止と運転技術の向上

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
当庁が力強い警察活動を展開していくために人的基盤を中長期的に強化する必要があり、採用試験受験勧奨等、採用に関する各種活動において、どのような点に工夫して受験希望者を募り、意欲を高めればよいか意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 採用ポスターの掲示場所を増やし、併せてパンフレットも据え置き依頼をする。
 - (2) 中長期的に強化するなら中学校にて中学生に対し広報するのが良いと思う。
 - (3) 管内の専門学校にて専門職の広報を依頼してはどうか。
 - (4) 駅前等往来の多い時間帯に受験対象者のみならず、その親世代に向けリーフレットを配布する広報活動をしてはどうか。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第1回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年06月21日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所	南千住警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
「南千住警察署取締り活動ガイドライン」見直しの要望により、
 - (1) 南千住駅東口ロータリーから隅田川駅北交差点までの「通称ドナウ通り」は商業地域にあり自転車の通行も多く、違法駐車や放置駐車は必要と判断。重点路線に変更を進めることとした旨を説明した。
 - (2) 千住大橋南交差点から南千住七北交差点を經由し、南千住西ロータリーまでの路線は小学校や中学校のある地域として通学児童の安全を確保する上で良好な交通環境維持のため重点路線として継続する旨を説明した。
- 2 業務推進状況
 - (1) 各種交通安全対策の実施
 - ア 高齢者に対する交通安全対策として福祉施設等において腹話術の交通安全教室を実施
 - イ 子供の交通安全対策として新入園児、新入学児童等を対象とした交通安全教室を実施
 - ウ 交通安全対策キャンペーン
 - ・ 春の全国交通安全運動に伴い各町会の主要交差点での交通安全指導、大型商業施設にてシートベルト疑似体験、自動車シミュレータによる実技指導及び白バイ乗車体験による交通安全対策を実施
 - ・ 交通事故で亡くなったお子さんが大事に育てた朝顔とひまわりの種をご遺族から引き継ぎ「交通安全の朝顔」「ひまわり絆プロジェクト」として管内保育園及び幼稚園に配布し、遺族支援と併せて命の大切さを伝える活動を実施
 - ・ 大震災発生時に備え信号機を滅灯した実地訓練を実施
 - (2) 災害対策の実施
震災での甚大な被害を想定し、家屋倒壊等被災者の捜索及び救出救助訓練を実施
 - (3) 地域警察官の活動状況
 - ア 110番通報入電状況
 - イ 刃物所持者による交番襲撃を想定した実戦訓練
 - (4) 刑事組織犯罪対策課の活動状況
 - ア 刑法犯認知件数及び検挙状況
 - イ 特異検挙事例として、本年1月に発生した高齢女性を狙った窃盗(ひったくり)事件被疑者の検挙
 - (5) 生活安全課の活動状況
 - ア 警視庁防犯アプリ「デジボリス」を広報啓発する活動として、管内保育園職員や保護者等に対し登録依頼を実施
 - イ 特殊詐欺発生状況と被害額について
 - ウ 特殊詐欺被害防止に効果的な自動通話録音機の設置促進活動について、現在まで設置した家庭から被害発生は0件であることから令和4年5月末現在65歳以上の家庭に148件設置
 - (6) コロナ禍において各協力団体役員へ引き続き協力を依頼するための書簡を送付

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
現在、登校時間帯における小学校周辺の街頭配置において、地域警察官は「見せる街頭配置」を行っているが、都民の目から、警察官の警戒状況がよく見えているか、もし見えていないとすればより効果的な警戒方法があるか意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) できれば複数の人員での配置が望ましいと思う。
 - (2) 目立つ配置にするため、蛍光カラーのベスト(ベスト)を着用してはどうか。
 - (3) 抑止効果として配置時に可搬式赤色灯(パトライト)を設置してはどうか。
 - (4) 適正な配置箇所という点については、地区によって交通量の違い等警戒の目的が

異なるため、地域の実情を勘案した選定が望ましいと思う。
(5) 「見せる街頭配置」として、登校する児童や保護者には配置している警察官の姿がよく見えているという話を聞き、地域の安心感に繋がっていることが分かった。
引き続き、学校やPTAと話し合うことでより地域の安心感に繋がると思う。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第4回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年03月24日 午後03時30分～午後05時15分

開催場所 南千住警察署 講堂
出席者 協議会委員 5名
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
 特殊詐欺被害防止啓発活動が一層効果のあがる方法についての要望に対し、
 (1) 商店街や駅周辺等の多人数が集まる場所での「街頭キャンペーン」の実施
 (2) 高齢者の集まる催しもの会場での「特殊詐欺被害防止講話」の実施
 (3) 管内の薬局に協力依頼し「STOP! ATMでの携帯電話」と表記のシールを薬袋に貼ることによる注意喚起による意識付けの実施
 (4) ATMにおいて、携帯電話で通話させないよう金融機関への要請及び警察官立寄り警戒の強化
 以上について説明した。
- 2 業務推進状況
 (1) 各種交通安全対策の実施
 ア 交通課員が作成した交通安全祈願ピクトグラム(18種類)のステッカーを貼った、交通事故「ゼロ」とカロリー「ゼロ」を掛けた「無事故ーラ」(ブジコーラ)を配布し啓発活動を実施
 イ 管内の二輪車事業所を対象とした、白バイ隊員による「二輪車実技教室」の実施
 ウ 15年ぶりに新しくなった警視庁交通安全スローガンを使用し当署独自で作成したカレンダー「チャレンジカレンダー2022」を広報活動時に配布
 エ 南千住交通少年団の活動として車両での交通安全広報の実施
 オ 「事故『ゼロ』南千住」の願いを込めて、当署受付ロビーに管内の幼稚園児等による「節分交通安全祈願ぬりえ」を展示し、来署者に対する交通安全の呼び掛けを実施
 (2) 災害対策の実施
 荒川区内三警察署及び関係機関が、大型台風時の水没被害や、震災時の木造住宅密集地域での甚大な被害等が予想される状況下で、聴覚障害者など災害弱者の方々への支援対策について意見交換するなど、合同検討会を実施
 (3) 地域警察官の活動状況
 ア 110番通報受理状況
 イ 職務質問による検挙状況
 ウ 交通違反取締り状況
 (4) 刑事組織犯罪対策課の活動状況
 ア 令和3年中の指定重点犯罪の認知件数及び検挙状況等
 イ 特異検挙事例として、平成27年に発生した集合住宅内における強制わいせつ事件被疑者検挙について
 (5) 生活安全課の活動状況
 ア 少年らによる強盗致傷事件被疑者の検挙について
 イ わいせつ物頒布事件被疑者の検挙について
 (6) 職員採用広報活動
 大学生参加型「警察署一日体験」の実施状況と参加者からの感想等及び、警察官の受験勧奨状況について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 「南千住警察署取締り活動ガイドライン」の重点路線・重点地域等について説明し、妥当性、必要性を踏まえて、見直し等について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 (1) 南千住駅東口ロータリーから隅田川駅北交差点までの隅田川駅北側沿いの道路(通称ドナウ通り)を重点路線にした方がいいのではないか。
 (2) 千住大橋南交差点(通称六車交差点)から南千住七北交差点までの東西の道路及び南千住北交差点から南方向に南千住駅西口ロータリーまで抜ける道路について

は重点路線に指定されているが、道が狭くあまり駐車車両も見掛けないことから、指定しなくてもいいのではないかと。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第3回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時	令和03年12月15日 午前10時30分～午後00時30分		
開催場所	南千住警察署 講堂	出席者	協議会委員 6名 署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された要望に対する取組等
 - (1) 「コロナ禍において活動が制限される中で地域と連携して活動する方法について」旨の要望に対して、荒川工業高校ボランティアチームを2班に分け、城北信用金庫南千住支店にて特殊詐欺撲滅キャンペーン、ジョイフル三ノ輪商店街にて自転車ダブルロックキャンペーンを「実施場所を2つに分ける」「広い場所で分散化する」という感染症対策を踏まえた方法を取り入れ効果的に実施した旨説明した。
 - (2) 「危険な歩きスマホ利用者対策」の要望に対して、歩きスマホの歩行者を見掛けた際には事故に直結するマナー違反として、積極的に「交通安全指導カード」を交付して注意喚起を実施している旨説明した。
- 2 業務推進状況
 - (1) 地域と連携した活動
 - ア 管内の小学生から募集した「交通安全標語」の最優秀作品を横断幕にして、南千住駅前のアンダーパス上に設置して交通安全広報啓発の推進と交通安全協会の方々と連携し「TOKYO交通安全キャンペーン」を効果的に実施した。
 - イ 無差別刺傷事件テロ等不法事案対策として鉄道事業者に対し訓練として、本年連続発生した電車内での無差別刺傷事件を受け、警察と公共交通機関がいかに連携を図り被害を最小限に食い止めるかを検討課題とした訓練を実施した。
 - ウ 風水害により隅田川岩淵水門が決壊した場合、当署管内一帯が3～5メートル水没すると予想されていることから、住民救助方法及び警察署機能移設訓練を実施した。
 - (2) 110番入電状況及び若手警察官の指導育成プログラムの実施
警察署に配属後は男女問わず地域課に所属し交番勤務を行うことから、管内の安心・安全を守るため、制圧逮捕訓練、職務質問及び無線通話習熟訓練等各種訓練にて早期育成を図っている。
 - (3) 指定重点犯罪の認知・検挙状況及び特異検挙事例
体調不良を装い、これを心配してくれている相手の隙を見て財布を盗んだ常習窃盗犯人を、防犯ビデオの解析と遺留品捜査等から犯人を特定し検挙した。
 - (4) 暴力行為等処罰に関する法律違反被疑者検挙事例
恋愛感情のもつれから脅迫を受け、包丁を突き付けられた事件が発生し、被疑者を検挙した。
 - (5) 留置業務について
被留置者の逃走防止等を図るための各種訓練を実施するとともに、人権を尊重した適切な処遇を行っている。また、留置施設内でクラスターが発生しないよう新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底している。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
特殊詐欺被害防止に総力を挙げて取り組んでいるが、高齢者等の中で「私は騙されない」という思い込みを持っている方が被害に遭うケースが多い状況から、被害防止啓発活動が一層効果の挙がる方法等について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 心理テスト(5問中3問該当した人は騙されやすい人です。といったもの)を訪問時等にやってもらい騙される可能性があることを自覚してもらう。
新聞折り込みチラシに掲載したり、リモートによる啓発活動も有効ではないか。
 - (2) 啓発イベントやキャンペーンにて、落語等は高齢者に面白おかしく興味を持ってもらえる方法として有効ではないか。
 - (3) もっと直接的に「騙されないと思っている人が騙される!」といったキャッチフレーズ・触れ込みで啓発活動を行ってはどうか。

[その他の意見要望等]

- 1 やはり、被害防止の最後の砦となるのは、金融機関、A T Mであることから、引き続き、警察官による見回りと声掛け、管理者に対する被害防止啓発活動をお願いしたい。
- 2 自動通話録音機の機能も同じ声で同じ文言ではマンネリ化して被害防止効果が薄れる。声色や文言が変わったりする機能を入れるといいのではないか。

その他

令和03年度 第2回 南千住警察署協議会 議事概要

開催日時 令和03年09月22日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所	南千住警察署 講堂	出席者	協議会委員 5名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備完遂と協力への謝辞
- 2 前回の協議会で出された要望に対する取組等
 - 「風水害発生時に、高齢者や身体の不自由な住民に速やかに情報伝達し、近隣が協力して避難できる環境作り」の要望に対し、
 - ・ 「防災無線を活用した訓練を実施した。高齢者等の入所施設と迅速的確に避難情報を共有して被害を防止するため、今後も訓練を継続していく。」
 - ・ 「近隣の高齢者と一緒に避難して下さい。」と広報する必要性を重視し、荒川区の防災無線やデジタルサイネージ等の広告媒体を活用し実施するなど、広報啓発を推進中である。」
- 3 業務推進状況
 - (1) 風水害対策
 - パートナーシップ参画団体との合同重機訓練実施
 - (2) 職務質問を端緒とした各種犯罪検挙状況
 - (3) 各種犯罪の検挙
 - ア 強盗致傷犯人4名を通常逮捕(本年6月に報道された事案)
 - イ 指定重点犯罪の検挙状況
 - ウ 刀剣所持、模造拳銃所持の検挙
 - エ 児童に対する声かけ事案を端緒にした児童買春犯人の検挙

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 児童通学路安全対策の設置
 - 子供たち自身で交通事故について考え、子供の視点から危ないと感じた交差点に「止まれ」と書かれた路面標示ステッカー「トラフィックペイント」を小学5年生の親子が設置した。
 - (2) 秋の全国交通安全運動
 - ・ 子供と高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
 - ・ 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
 - ・ 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
 - ・ 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
 - ・ 二輪車の交通事故防止
 - (3) マンションにおける効果的な巡回連絡の推進
 - (4) 広報啓発・情報発信活動
 - ア 当署受付にデジタルサイネージを設置
各課の情報、警察官採用勲奨、犯罪被害者支援等について発信している。
 - イ 「ひまわり・朝顔絆プロジェクト」(被害者支援、交通事故防止の取組)
交通事故で亡くなったお子さんが大切に育てた花の種を頂き、当署花壇に花を咲かせる活動で、これを普及させることにより、命の大切さと交通事故防止を訴えていく。

以上の施策を説明し、コロナ禍で、地域の方々と連携した各種防犯活動・ボランティア活動・合同キャンペーン等が制限される中、効果的な推進方法について意見・要望を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) イベントや催しは、参加人数を少なくし、回数を増やしてはどうか。
 - (2) 広報活動については、警察車両や区の青パトによる広報が効果的ではないか。
 - (3) 地域の人とのつながりのためには、日頃の「目配り」、「気配り」、「声掛け」が大切で、警察官は、交通取締りで街頭に立っている場合なども通行人に積極的に声掛けをしていくことが必要ではないか。
 - (4) イベントや催しを行う際は、看板等で「感染対策を実施しています」と強調することで、地域の人から納得が得られるのではないか。
 - (5) 相手方の通信環境等の問題もあるが、リモートの手法を活用してはどうか。

- これらに対して、
- (1) 各協力団体の役員や代表者と話し合い、協力を求めて実施していきたい。
 - (2) 広報車両は、今後更に活用を増やしたい。
 - (3) 署員に、職務質問等とは異なる「声掛け」の重要性について指導し、実践させる。
 - (4) 明確な表示、ソーシャルディスタンスの確保を徹底し、感染防止対策を推進する。
 - (5) 可能な限り、リモートの手法を導入していきたい。
- と回答した。

[その他の意見要望等]

委員から、「最近、街頭における歩きスマホが目に残り、事故等が心配だ。どうにかならないものか。」との意見があったことから、「荒川区の条例等も確認し、対策を講じたい。」旨を回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。